

2020

# 同友しずおか

1

VOL.494

愛  
正



私の逸品

(株)望野板金製作所

職人技で美しい断面に  
仕上げるレーザー加工機



静岡県中小企業家同友会



## 令和二年 年頭所感

代表理事 井上 斉  
(ワシロック工業(株) 代表取締役)

謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃、同友会運動にご尽力いただいておりますことに先ずは感謝申し上げます。

米中貿易摩擦を端緒としたグローバル経済の変調で、国内景気も減速傾向となり、消費税増税も相まって、先行に不安を感じる年明けとなりました。また、地球温暖化に伴う気象状況の変化は、各所で未曾有の災害をもたらし、地震列島である我が国も、想定される大規模地震等、自力では解決できない危機的状況も想定されます。有事に対する自らの備えと、地域の良好な協力関係が益々重要となってきます。

我々を取り巻く経営環境は日々変化しております。経営課題を克服してゆくため、経営指針を実践し、会員経営者同士が切磋琢磨する環境を創り上げ、国民と地域と共に生きる、『なくてはならない中小企業』を目指しましょう。そして、静岡県をはじめ各市町が中小企業振興基本条例制定をしていることは、企業単独では困難な経営環境の改善を目指す我々にとっても、また、地域で暮らす人々にとっても大きな後ろ盾となることでしょう。今まさに、制定された条例の実質的運用が求められております。静岡同友会の地域における存在感も増してきている中、「会員増強は地域貢献！」を合言葉に早期の1200名達成に向けて、皆様の益々のご協力をお願いいたします。

近時、私たち中小企業では、人手不足と事業承継が大きな問題として取り上げられております。中小企業の存続と発展が地域経済に大きな影響力をもたらします。本年も各関係機関との情報の共有と政策要望を継続し、地域の人々が安心して暮らせる社会をつくっていくために、また、地域から高い水準で期待される魅力ある企業となるために運動を推進しましょう。そして皆様が益々活躍されることを祈念申し上げます。



## 変えてはいけけないもの

会長 遠藤 一秀  
(遠藤科学(株) 代表取締役)

謹んで新春のお慶びを申し上げます。令和最初の年始です。昨年春には元号が平成から令和となり、秋には天皇ご即位にかかる式典が華やかに挙行され、「新しい時代の到来」とマスコミも沸き立ちました。しかし、自然も社会も一朝一夕で変わることはありません。景気は徐々に下降線をたどり、大幅な内閣改造があっても政治改革は中々進みません。

同様に、大晦日が明け正月元旦の朝を迎えると、自分も我が社も昨日と何も変わるはずのないことを承知して居ながら、すがすがしい、真新しい気分になるものです。この年明けという気分一心のチャンスに「変わらないければいけないもの、変えてはいけないもの」を見つめ直しました。「時代変化に乗り遅れるな」「チェンジはチャンス」などと、ひたすら「変化」が求められる昨今です。しかし、私はむしろ自分の信念やわが社の経営理念を「変えてはいけけないもの」として強く意識しました。日常生活では、改めて自身の信念を見つめることはありませんが、時には我が人生観や生活信条を再確認し、我が経営が掲げる経営理念を研ぎ澄まし、地域社会を支える責任感をより強固なものにすることが必要です。

これらを達成・実現するための手段や方法は、その時々状況で変化しますが、せめて正月位は、「変えてはいけけないもの」を確認し、自覚を深めました。こんな事を書くのは、俺も年老いて頑固者になったからかな？と内心で苦笑しながら……。





# 職人技で美しい 断面に仕上げる レーザー加工機

(株)望野板金製作所 (富士支部)

常務取締役 望野 裕介氏

## 他企業に先駆けて導入した レーザー加工機

(株)望野板金製作所 望野裕介氏の逸品は、次男の望野和典氏(専務取締役)が操作入力をするレーザー加工機です。このレーザー加工機は先代の社長が25年前に初めて購入し、現在使用しているもので2代目になります。まだレーザー加工機というものがなかった頃に他の企業より先駆けて、当時1億円以上かけて導入しました。3m×1.5mの作業スペースの大きな機械ということもあり、同業者からの仕事もたくさん頂いたそうです。今使っているものは13年目になる



望野裕介氏(右)とご兄弟

レーザー加工機ですが、まだまだ現役で十分稼働中とのことでした。

## 細やかな調整できれいな切断面に

レーザー加工機のスペックについてですが、同社では、鉄は0.5ミリから16ミリ、ステンレスは0.5ミリから10ミリを主として加工しています。作業台の大きさは3m×1.5mあり二酸化炭素のレーザー加工機(二酸化炭素をレーザー媒質としたガスレーザーの一種)です。少し専門的なことですが、機械と言ってもボタン一つで何でもできるものではなく、切断面をきれいにするために、切断スピード・光の出し方・アシストガスの量など様々な調整が必要だそうです。同じ厚さで同じJIS規格の金



レーザー加工機

属でもメーカーによって同じ調整では切断面が異なるそうで、その調整はまさに職人技です。切断面を見せて頂いたのですが、本当にきれいで素晴らしい物でした。

## 技術力を売ることが私たちの仕事

望野氏は切断面へのこだわりについて「同じ機械を使っても使用者によって仕上がりが違います。よりキレイに仕上げる技術力を売るのが私たちの仕事です」と話してくれました。製作の打ち合わせの時に「こんなにきれいにできるの!」と驚かれる方も多いそうです。クレームはほとんど無く、加工上のミスもないと話してくれました。新規取引先を開拓するような営業活動はしていないとのこと、口コミや紹介で受注しているそうです。「レーザー加工なら望野板金」と富士支部の方からの依頼も多いそうで、しっかりと仕事をしている望野氏ならではのお話だと感じました。



## 熱いこだわりをもつ3人兄弟で経営

長男の望野昌宏氏(代表取締役)、次男の望野和典氏(専務取締役)、三男の望野裕介氏(常務取締役)と3人兄弟で経営されている同社では、皆さんいろいろなこだわりを持って仕事をしており、話を聞いているうちに『下町ロケット』の世界を思い出しました。仕事に一生懸命で手抜きをしない(株)望野板金製作所に熱い気持ちをもらいながら、富士山と新東名がきれいに見える工場を後にしました。取材・記事・渡邊 正仁氏 (丸之工務店・富士支部)

### (株)望野板金製作所

〒417-0001 富士市比奈字松沢3031-1  
TEL: 0545-38-1223  
URL: <http://www.mochino.co.jp>

創立 1976年  
設立 1986年  
社員数 正規15名 パート1名  
入会年月 2019年4月  
事業内容 産業機器部品・操作盤・ラック部品等  
製造、各種レーザー加工他金属加工

会員訪問記

危険な仕事もおまかせあれ！  
お客様の思いに応えるために日々発展中

わたなべ造園  
代表 渡邊 忍氏（御殿場支部）



木の上で剪定作業を行う職人

「家を建てること以外は  
何でもやります！」

造園業を営む渡邊氏の会社設立は5年前の2014年、個人の庭の手入れから始まり、外構の工事、ハチヤネズミの駆除など、お客様からの相談に応えながら仕事を増やしてきたそうです。道端で作業を見ていた人から「名刺ちょうだい！」と言われ、後日庭の剪定を依頼されたこともあるとのこと。また、お客様の要望通りでは明らかに枯れてしまつたと予測される手入れの依頼があった時、別の提案でお客様を説得することができず、要望通りで出来る限りの対応をしたことがありました。そのお客様には「お代は受け取れないです」とお伝えしました。後日、そのお客様より連絡があり、「やっぱり言われた通りにしておけばよかった」と再度依頼を受け、当初こちらから提案した通りの対応でキレイに仕上げたこともあったそうです。そんなお客様志向の渡邊氏は、同業の仲間たちからも重宝されているように、面倒な話や、条件の悪い環境下の案件があると「あいつに頼もう！」と仕事を依頼される事が多いそうです。岸壁から飛び出した木の伐採や、重機や機材が使えないような場所に自ら登っての作業など、危険と隣り合わせの仕事にも対応してもらえることが多くの人の目にとまり依頼が増えたそうです。高い場所ではビルの15〜16階に相当する高さ47メートルまでロープだけを使って登り、傷んだ木を切ることもあります。また、切った木をロープを使って下に落とす技術も要求されることから信頼できる息子さんと二人三脚で対応に当たっています。ただ「木を切つて下に落とす」と聞くと一見簡単そうですが、緻密な計算と高度な技

異例な成り立ち

術を駆使して行う作業は日本でも数少ない空師と言われる職人の仕事と同様のレベルです。とにかく困っているお客様に喜んでいただきたい一心で日々取り組むことが、営業を行わなくても仕事をいただける秘訣なのかもしれません。



経営者になるタイプは事業を引き継ぐケース、経営者を目指してなるケース、仕方なく経営者になるケースが基本ですが、渡邊氏はどれにも当てはまりません。気がついたら経営者になっていたと話します。元々は3000人規模の運送会社で長距離ドライバーを25年間勤めていた渡邊氏。会社の2代目社長よりも古株で会社の内情に精通していたため、色々相談を受けることも多く貴重な人材だったそうです。会社を辞めるに至った転機は奥さまから相談を受けたことでした。睡眠時間が1〜2時間しかとれない日々を目の当たりにして不安を感じていた奥さまから「その環境を変えて欲しい」と言われたそうです。会社にも理由を告げられず、社内でも頼られる存在であった事から慰留されましたが、奥さまとの約束を果たしました。退社後は、友人の造園業の手伝いをして

同友会で真の経営者へ

現在は会社のベースを構築中で、同友会に中々参加できていない状態ですが、出席すれば良いのか試行錯誤中ですが、出席すれば先輩方から学ぶ事が多く、出来ることから取り組んでいこうと考えています。環境が変わったことで、困難なことはありつつ何もかもが新鮮で「日々難題をこなすことが楽しくてしょうがない」と語る渡邊氏。将来は高度な技術を習得し、お客様から信用を得て海外の庭造りも手がけたいと夢を語ってくれました。何事にも常に前向きな気持ちで向き合う渡邊氏に、今後のさらなる発展が楽しみに感じました。

取材・記事：片野 貴一郎氏  
（株式会社クリエーション・御殿場支部）  
取材：岡村 武典氏  
（合同会社岡村商店・御殿場支部）

わたなべ造園

〒412-0043 御殿場市新橋1289-761  
TEL：0550-84-0439

設立 2014年  
社員数 1名  
入会年月 2018年10月  
事業内容 造園設計・施工・管理・特殊剪定・特殊伐採、外構工事、林業

お客様の「家具」と「暮らし」を考える

(株)カグラス

代表取締役 田中友寛氏 (三島支部)



田中友寛氏(左)と三島支部の皆さん



伊豆半島を流れる狩野川からほど近く、函南町にある家具専門店にお邪魔しました。

商品と想いを繋ぐ

(株)カグラスは平成28年6月に代表取締役である田中友寛氏が創業。厳しい状況にある家具業界で頑張っておられる経営者です。

創業のきっかけは、父の経営する(株)田中家具の隣の建物を間借りして中古家具店を始めたことです。新品家具を売るだけでなく、厳しい状況が続いている中で、お客様の困りごとを聞いていくうちに思い付いた事業でした。(株)田中家具で新品の家具を買うついでに、古い家具を中古として引き取り、リフォームして次のお客様に売る。家具屋で家具を売るお客様は、大事に使うことで家族の歴史も家具に刻まれ、愛着がある方が多くいます。その為、廃棄されるよりは中古として息を吹き返し、新しい

お客様に使ってもらうほうが喜んでいただけるそうです。会社の特徴を活かし補完し合うことで、お客様の要望に応えてきました。現在は(株)カグラスが新品の家具の販売も一貫しておこなっています。

疑問を抱き同友会へ

大学を出て26歳で、父の経営する(株)田中家具に戻りました。しかし数字に関しては直接伝えてもらうことはなく、疑問を抱いているうちに、同友会の門を自らたたきました。時間はかかりましたが、現在は同友会会員に経営コンサルをしてもらったり、お客様として来店してもらったりと、様々な場面で繋がりができているとのことでした。(株)田中家具の社長であった父とはぶつかることも多くあったようですが、現在は社員さんとのびの仕事ができています。また、2019年6月にリニューアルした本社の2階はカフェになっており、コーヒーの良い香りがしてきます。カフェとして利用している方や、家具を買いに来たお客様が、家具を選びながら休憩できるスペースとして利用されています。

カグラスの信念を貫く

『家具』と『暮らし』を考える意味でカグラスという会社名にしました。今後も当然その信念は貫いて、行くつもりです」と力強く語ってくれました。

最後にカグラス3つのこだわり



で締めたいと思います。国産の家具、無垢の家具、オーダーメイド家具、これを今後のテーマにするともに、社員と

のコミュニケーションも取って、まずの発展を目指していきたいと自信にあふれていました。まるでテーマパークのような、そこにいるだけで楽しくなるような雰囲気のある家具屋さんでした。

取材：記事・山下直毅氏

(株)サンアイ電工・三島支部

取材：久保修平氏(株)和楽・三島支部

増田隼人氏

(株)集客デザイン研究所・三島支部

(株)カグラス

〒419-0114 田方郡函南町仁田292-6

TEL：055-978-8879

URL：http://kagras.net

創業 2016年6月

社員数 8名

入会年月 2019年4月

事業内容 国産家具、無垢の家具等の良質な家具の提案販売・カーテン等のウィンドウトリートメントのご提案。オーダー家具の企画、提案・ハウスメーカーさん向け内覧会家具レンタル

# 第16期経営指針を創る会 一泊修了式

日程：12月14日(土)～12月15日(日)  
場所：静岡ホテル時之栖



開講から16期目を数える経営指針を創る会は、今期最終講の一泊修了式を開催しました。修了式では第16期生の会員8名が、6月から全12講に亘って成文化した経営指針書を同期生、創る会スタッフの前で発表しました。第1講から経営者としての自分を見つめ直し、真摯に議論を重ねてきました。共に本音で語りあいながら、自社の存在意義を明確にし、ビジョンを描き、それらを経営理念や経営計画に落としこんだ経営指針書を創りあげました。その第16期生を代表して、2名の方から感想と決意が届きましたので紹介します。

## 創業200年に向けて一歩前進



私は創業172年の食品製造会社の後継者という立場です。『会社を良くしたい』そんな思いはあるのですが一体どうすれば良くなるのかが分からず、もし会社全体が同じ方向

向く事が出来たら…という思いの中、同じ支部の仲間に誘われて創る会に参加しました。改めて自社について見つめ直してみると自分でも分かっていない事が多く、挫折しそうになりましたが、課題への取り組みや受講生・スタッフ・事務局の皆様との議論の中で自社事業の在り方・何のため誰のために働くのかを追求する事が出来ました。そして、指針を創るだけでなく自分自身が変わらなければ会社は良くなると再認識させられる半年となりました。これからは現社長である父親に自信を持って向かい合い、共に会社の未来を作り上げていこうと思います。時には優しく時には厳しく夜遅くまで本音で向き合ってくれた皆様には感謝の言葉しかありません。何分にもまだまだ未熟者でございますので、来期以降はスタッフとして創る会に参加し、皆様と共に学び共に成長し続けたいと思っています。

中村 秀和氏 (中村醤油㈱・榛南支部)

## 今は亡き創業者に出会えた奇跡



同友会入会後に先輩から教えていただいた創る会の存在。今年度から代表取締役

に就任が決まった時に「挑戦するならば今しかない!」と奮起し、先輩の後押しも手伝い第16期創る会の申込みを決めました。全12回の講習でそのうち土日を使った1泊研修が3回。平日は営業の仕事を終えてから車で沼津から静岡市内に向かい、講習を終えて帰宅すると夜の11時。6月からの半年間は常に頭に課題のことがあり追われるような心境の毎日でした。

ただ修了した今になり振り返ってみると、4代目である私に欠けている様々な要素を確認していく貴重な時間となりました。1つめは労使見解です。心のどこかで経営者と社員は全く相容れない人間関係と思っていましたが、社員はお互いの人間尊重を基礎としたパートナーであるということ。2つめは地域と社員への感謝の気持ちです。これからの会社の将来を真剣に考えるにあたり、これまで地域から必要とされて懸命に生きてきた社員の存在が原点にあるということ。最後に創業者や両親への尊敬と感謝の念です。創業から現在に至る社史を調べるにあたり、たくさんのお話を両親としました。またその過程において、創業者の名前を私が入社前に修行をしていたメーカーさんのホームページで偶然発見した時は、一筋の光明が差しやっ

と原点に辿り着いた気がしました。指針書を創り上げたまさにこれからが真のスタート。周囲への感謝を忘れずに地域社会に貢献できるよう努力を続けます。

鈴木 憲介氏 (㈱東海医療器械・沼津支部)



## 県障がい者問題委員会 クリスマスバザー

12月8日(日)に青葉公園にて、静岡市ボランティア団体連絡協議会主催の「第20回いのちボカボカ街角クリスマス2019」に障がい者委員会が出店をしました。会員企業30社から商材を提供して頂き、計123,200円の売上金が集まりました。こちらは全額、静岡市社会福祉協議会とスペシャルオリンピックス日本・静岡へ寄付させて頂く予定です。この寄付金は、それぞれの団体の各種事業推進費や静岡県・市内福祉団体活動の助成金等に使われます。ご協力頂いた皆様、誠にありがとうございました。

渋沢栄一に企業経営の  
あり方を学ぶ

講師

静岡大学名誉教授  
静岡県中小企業家同友会顧問

山本 義彦氏

11月30日(土) 於同友会事務局



山本 義彦氏

渋沢栄一は川越藩の下級武士出身ですが、徳川慶喜に幕臣に取り立てられ、フランスに渡り西洋文化を勉強しました。徳川政権から大政奉還により維新政府政権に代わった為、強制帰国することとなりますが、帰国後大蔵省に入省します。しかし、手腕を発揮出来なかったのか理由は不明ですが明治8年に退官。その後、実業家活動、政治活動、社会貢献活動と多彩に活動し、係わった企業は500社以上とされています。渋沢栄一が特に目置かれるのは「財閥」を作らなかったことです。時代背景を考えると三井(三井高福)、三菱(岩崎弥太郎)、住友(住友友純)、安田(安田善次郎)などの財閥が市場を独占する時代だったはずですが、それなのに500社以上の企業を作っているが、ほとんど経営トップになっていない。これは常人では考えられないことです。フランスの近代文化を肌で感じてきたから、経営の本質「責任」を見抜いていたのでしょうか。

山本先生の講義を聞いて一言で言うなら「百聞は一見に如かず」だと感じました。渋沢栄一が亡くなったのは満91歳。現在だったららきっと100歳を越えていたでしょう。現在、渋沢栄一は「日本の資本主義の父」と語られています。私も長生きして社会貢献し、どんなに小さくても「人」と語られる人生を目指していきたいと再度認識した講義となりました。  
望月知洋氏(エムスタイル・富士宮支部)

イスラムの歴史的、  
思想的背景

講師

静岡県立大学国際関係学部  
准教授 宮田 律氏

12月14日(土) 於同友会事務局



宮田 律氏

私のイスラムのイメージは、装束や礼拝、断食など宗教による生活全般の規制や好戦的なイスラム過激派などから、あまり好感を持っていませんでした。しかし、地元の静岡市用宗にも「モスク」が造られるなど、既にアジア各地から多くのイスラムの人が日本に入り、農業や漁業での欠かせない労働力となっていることでした。実際にインドネシア人を雇用している経営者に就業状況を聞いてみると、少し困る事は豚肉を食べない事くらいで宗教上の問題は感じないとのこと。宮田先生の話の通り彼らは上手に日本の生活に溶け込んでいるようだと感じました。

問題のイスラム過激派の台頭要因は、国の政治、社会・経済的不平等、さらに欧米諸国のイスラム敵視政策にあるようです。中東イスラムには生活習慣や言語が異なる多くの国がありますが、トルコ以外はほぼ独裁又は権威主義体制で、国家の富が教育や福祉より兵器に使われるなど、政治の腐敗や私物化が見受けられます。さらに顕著な人口増加で青年が失業により政治運動へと流れているとのことでした。  
また、ソ連のアフガニスタン侵攻、湾岸戦争、9.11以降の対テロ戦争と、欧米諸国との歴史的な対立がイスラムの聖戦の理由となっているという話でした。現在もアメリカのペルシャ湾情勢緊迫による有志連合への日本参加要請がありますが、テロを防ぐには軍事行動ではなくむしろODA(開発途上地域の開発を主たる目的とする政府及び政府関係機関による国際協力活動)であることは明白であり、今後さらに深い日本独自のイスラムへの認識と理解が必要であると感じました。  
市野征則氏(㈱丸二商会・静岡支部)

静岡大学連携講座

中小企業における自社商品開発の実際

講師：九川 治喜氏 丸山工業(株)(富士宮支部)

12月4日(水)



九川 治喜氏

富士宮市で金属プレス・パイプ加工会社を営む九川氏。趣味がフアゴット演奏であることを活かし、自社製品の楽器「マルコ・ケーナ」を開発。マグネシウムという素材や様々な人との出会いから、経営資源が限られる中小企業でも経営者としての夢を実現しました。自身の体験をもとに、働くことの喜びや人生の中で大事にしているものを自覚することの大切さを学生に伝えました。

「地域企業」としての経営戦略

講師：穂坂 勝彦氏 富士宮清掃(有)(富士宮支部)

12月11日(水)



穂坂 勝彦氏

富士宮市で一般廃棄物収集運搬業を営む穂坂氏が、「地域企業」をキーワードに自社で行っている地域との関わりを紹介。そして、人を生かす経営を実践することで、社員が誇りを持って働き、地域から必要とされる企業になることが自社の使命だと話しました。最後に、これまでの経験を踏まえ、ビジョンを持つこと、時代認識と未来を読み取る力、本質を見極める力が大切だと学生に伝えました。

目的とビジョンを明確にして未来を切り拓こう！

講師：久高 洋司氏 (㈱高栄塗装(静岡支部))

12月18日(水)



久高 洋司氏

久高氏は25歳で塗装の個人事業を開始し、2年後に高栄塗装を創立しました。当時は職人を束ね無計画に働いてきましたが、同友会で経営指針を創り、経営者の学びの実践を重ねてきました。「何のために働くのか？」経営理念と個人の人生理念を一致させながら、目的の実現に向けて目標を達成してきた久高氏。創業から20年、今は一代で築き上げた自社の10年後を考えます。学生には「人生は一度きり。毎日がりハハサルのない本番で時間の使い方は重要である」と伝えました。

# 1月・2月

## DOYOU CALENDAR

1月16日(木)～2月15日(出)

1月16日(木)	経営指針を創る会発表会・見直しプロジェクト (19:00 同友会事務局) 富士新年例会 (19:00 匂の蔵 割烹角山)	29日(水)	伊東新年例会 (19:00 未定) 志太例会 (18:30 藤枝市文化センター)
17日(金)	県共育委員会 (19:00 同友会事務局)	31日(金)	中遠例会 (19:00 総合健康福祉会館 iプラザ)
18日(土)	沼津新年例会 (18:00 FDIバンケットホール)	2月3日(月)	総務財務委員会 (16:00 同友会事務局)
20日(月)	県組織増強委員会 (東部) (19:00 プラサヴェルデ)	7日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川 バイパス店)
22日(水)	県理事会 (17:00 同友会事務局) 県例会企画委員会 (19:00 同友会事務局) 県障がい者問題委員会 (19:00 同友会事務局)	8日(土)	同友会大学 (14:00 同友会事務局)
23日(木)	榛南特別例会 (17:00 きてご榛原) 浜松例会 (19:00 ザザシティ中央館)	12日(水)	正副代表理事会 (17:00 同友会事務局) 御殿場例会 (19:00 エピ・スクエア) 静岡例会 (19:00 県教育会館)
24日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私」 (19:00 同友会事務局)	13日(木)～14日(金)	中同協第50回中小企業問題 全国研究集会in京都 (13:00 国立京都国際会館)
25日(土)	共学ゼミ (14:00 かまくら文庫)		



《あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください》

★事務局冬期休暇について：12/31(火)～1/2(木)

### 同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



#### 中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

#### 同友会3つの目的

1

##### よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2

##### よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3

##### よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、  
同友会にありました。

会員募集中

経営者同士だからこそ話せる  
悩み、解決へのヒント、将来への展望。  
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130

#### 2019年度活動方針

##### ◆企業づくり

- I. 経営指針を成文化し、すべての人が生きる企業をつくろう
- II. 経営者と社員が共に育つ企業風土を確立し、時代の変化に対応できる強靱な企業になろう

##### ◆地域づくり・経営環境づくり

- I. 中小企業振興基本条例の学びを深め、地域づくりの推進役となろう
- II. 関係機関との連携を深め、経営者の声で経営環境を整えよう

##### ◆同友会づくり

- I. 仲間づくりを推進し、1200名会勢を早期に実現しよう
- II. 真の経営課題に気づく学びあいにより、活力ある同友会をつくろう
- III. 同友会理念の学びを深め、実践で語れる会員を増やそう

◆1月ご入会の新会員のご紹介は「同友しずおか2月号」にて掲載させていただきます。◆



静岡同友会  
Facebookページ



静岡同友会Facebookページで、会員企業訪問の様子や各支部例会の案内を掲載しています。ぜひご覧ください！